

2020年12月14日

第2回 地域プロモーション大賞 決定！

大賞は【動画部門】青森県弘前市 【パンフレット部門】愛媛県宇和島市

主催：一般財団法人地域活性化センター 後援：時事通信社、共同通信社

一般財団法人地域活性化センターでは、地域の魅力を国内外に発信する広報 PR 活動の一助とするために、地域プロモーション事業の推進を行っています。その一環として、令和元年度より、優れた PR 動画やパンフレットを表彰する「地域プロモーション大賞」を実施しています。

この度、第2回の各賞が決定しましたので下記のとおりご報告いたします。

なお、大賞受賞団体の表彰式を2021年2月（日程調整中）に開催予定です。

記

1. 名称 「第2回 地域プロモーション大賞」
2. 目的 動画やパンフレットを活用して、優れた地域のプロモーションを行っている団体を表彰し、その取り組みを他地域の参考としてもらう。

3. 各賞大賞

▼動画部門（ふるさと動画大賞）

募集テーマ

「会いにいけなくても繋がれる 地域プロモーション動画」

応募作品数：125点 受賞作品数：8点

| 賞（各1点） | 受賞自治体・作品名 |
|------------|------------------------------|
| 大賞 | 青森県弘前市「101回目への弘前公園の桜（2020）」 |
| 優秀賞 | 佐賀県小城市「小城のおと」 |
| 箭内道彦賞 | 東京都品川区「品川海苔PR動画」 |
| 秋吉久美子賞 | 東京都墨田区「人と人とのつながりを未来へ～駄菓子屋編～」 |
| 木川剛志賞 | 栃木県佐野市「MY CITY」 |
| 松原亨賞 | 宮崎県串間市「温故知新～夢は、南の果てにある。～」 |
| 谷中修吾賞 | 鹿児島県指宿市「読めない、指宿」 |
| 地域活性化センター賞 | 広島県廿日市市「はつかいち物語 愛の取調べ室」 |

▼パンフレット部門（ふるさとパンフレット大賞）

募集テーマ

「わくわく ドキドキ！ わたしのまちの魅力発信」

応募作品数：107点 受賞作品数：8点

| 賞（各1点） | 受賞自治体・作品名 |
|------------|--------------------------------------|
| 大賞 | 愛媛県宇和島市「宇和島本」 |
| 優秀賞 | 香川県小豆島町「小豆島町町勢要覧「わたしは、小豆島。」」 |
| 南仲坊賞 | 栃木県栃木市「地と」 |
| 楓千里賞 | 東京都東大和市「デザインマンホール設置マップ」 |
| バックン賞 | 埼玉県越谷市「こしがやエモイマップ」 |
| マクン賞 | 北海道北見市「北見焼肉指南～焼肉といえば北見でしょ。～」 |
| 地域活性化センター賞 | 京都府福知山市「明智光秀からの「謀反のお知らせハガキ」」 |
| 特別賞 | 新潟県南魚沼市「南魚沼産コシヒカリ 農/KNOW THE FUTURE」 |

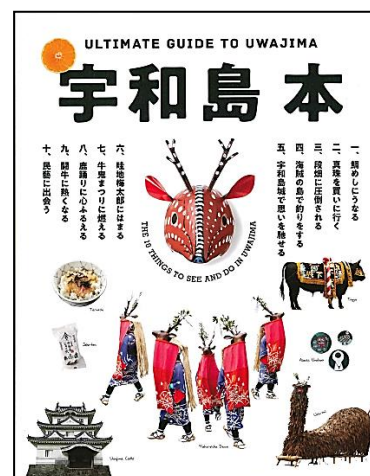
▼大賞作品 青森県弘前市

101回目への弘前公園の桜(2020)



▶大賞作品

愛媛県宇和島市
宇和島本



4. 詳細情報は、地域活性化センターHPもご覧ください！ <http://www.jcrd.jp/>

お問い合わせ先：一般財団法人 地域活性化センター 情報・広報グループ 広報室

広報室長 畠田 / 動画部門 石原 / パンフレット部門 柏木

電話：03-5202-6137 メール：kouhou@jcrd.jp

第8回ふるさとパンフレット大賞 審査結果

開催趣旨

地域活性化センターでは、平成23年度から日本橋プラザビル1階（東京都中央区）に全国の自治体パンフレットを集めた「ふるさと情報コーナー」を設置し、運営してきた（昨年度からはデジタルサイネージによる運営）。

全国各地には、独自のセンスで地域の魅力を発信しているパンフレットが数多くある。当センターでは、全国にある秀逸なパンフレットを発掘し、表彰するとともに地域情報の発信を支援するために、「ふるさとパンフレット大賞」を実施する。

審査委員

| | | |
|-------|--------|------------------------|
| 審査委員長 | 南 伸坊 氏 | （イラストレーター） |
| 審査委員 | 楓 千里 氏 | （國學院大學研究開発推進機構 教授） |
| | パクン 氏 | （お笑い芸人 パクンマクン） |
| | マクン 氏 | （お笑い芸人 パクンマクン） |
| | 北村 潤一郎 | （一般財団法人地域活性化センター 常務理事） |

募集テーマ

わくわくドキドキ！ わたしのまちの魅力発信

応募作品数

107点

受賞作品数

8点

| 賞（各1点） | 受賞自治体・作品名 |
|------------|---|
| 大賞 | 愛媛県宇和島市「宇和島本」 |
| 優秀賞 | 香川県小豆島町「小豆島町町勢要覧「わたしは、小豆島。」」 |
| 南伸坊賞 | 栃木県栃木市「地と」 |
| 楓千里賞 | 東京都東大和市「デザインマンホール設置マップ」 |
| パクン賞 | 埼玉県越谷市「こしがやエモいマップ」 |
| マクン賞 | 北海道北見市「北見焼肉指南～焼肉といえば北見でしょ。～」 |
| 地域活性化センター賞 | 京都府福知山市「明智光秀からの「謀反のお知らせハガキ」」 |
| 特別賞 | 新潟県南魚沼市「南魚沼産コシヒカリ 農/KNOW THE FUTURE」 |

特別賞

新潟県南魚沼市

南魚沼産コシヒカリ 農/KNOW THE FUTURE



作品概要

南魚沼産コシヒカリの販売促進を始め、農業の素晴らしさ、従事する人々のカッコよさをPRすることにより、「職業選択肢としての農業の推進」「農業を契機とした南魚沼市への移住定住促進」「観光業を始めとした市内各種産業の活性化」など、農業全体、南魚沼市全体への効果の波及を目指している。

http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/58/knowthefuture_flyer.pdf

審査コメント

- ・まるで映画のポスターのパロディのようだと思ったら、本当にショートムービーのためのパンフだった。何にしても「目をひいた」。
- ・YouTube上のショートムービーとポスター、パンフレット（チラシ）がトータルで企画デザインされており、その質の高さに圧倒される。チラシを一瞬見ただけでは映画館で上映される作品と勘違いしそう。
- ・YouTubeでは、若手農業者の勇壮なコンバインパフォーマンスが軽快な音楽と共に流れ、コシヒカリの美味しさも伝わってきた。イケメン揃いの皆さんの顔をしっかり確認できるのは、チラシの良さとも言えそう。

受賞団体コメント（新潟県南魚沼市農林課）

この度は大変素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。

今回のパンフレットは、市を代表する特産品である南魚沼産コシヒカリの販売促進、普及促進事業の一環として作成しました。

農業に従事する人々のカッコよさをPRすることにより、「職業選択肢としての農業の推進」や「農業を契機とした南魚沼市への移住定住促進」など、農業全体、南魚沼市全体への効果の波及も目的としています。

また、従来のコメのプロモーションの常識を覆すこと、農業や農山村地域に対するマイナス・イメージを払しょくすることにチャレンジしました。

今回制作したチラシや関連動画をご覧いただき、若手農業者の熱い思いを感じていただければ幸いです。

審査委員講評



審査委員長 南 伸坊 氏 (イラストレーター)

奇抜で思わず手に取る、元気で楽しそうなビジュアル、手作り感のある親しみの持てるデザイン…と毎年、それぞれ工夫のあるパンフレットを見てきました。

今年の傾向は、オーソドックスに美しいデザインと作り込まれた内容のものが、最終選考に残りました。



審査委員 楓 千里 氏 (國學院大學研究開発推進機構 教授)

大賞の「宇和島本」は、書店で販売されているガイドブックと見間違えるほどの完成度の高さ。メイン特集を「宇和島でやりたい10のこと」で固めながら、サブテーマの「プロが教える写真のコツ」「旅のコラム」「旅の便利帖」を上手く配し、興味が途切れない構成に脱帽でした。

優秀賞の「わたしは、小豆島。」は、登場する島の方の柔らかな表情が、小豆島の穏やかな空気を伝えてくれます。表紙に小さく「小豆島町勢要覧」と記されていますが、観光パンフレットとしても十分役に立つ一冊です。



審査委員 パックン 氏 (お笑い芸人 パックンマックン)

毎年楽しみにしているパンフレット大賞ですが、今年は少し複雑な気持ちで審査に挑みました。きれいな自然、おいしそうな食、優しそうな地元人を見せられても、実際に旅に出かけづらい世の中ですからね・・・。

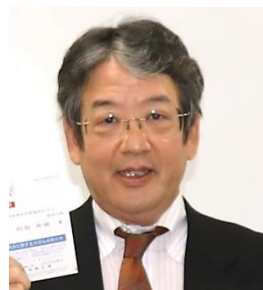
しかし、パンフレットをじっくり見ているうちに、徐々に気分が変わってきました。日本の地方は本当に恵まれているし、それらを数枚の写真と短い文章でうまく表す術がどんどん高まっているのです。居間の床に全パンフを広げ、一つずつ手に取りながらプチ旅気分を満喫しました。それでも、いつかは必ず現地に駆け付け、五感でその魅力を確認したいと思っています。



審査委員 マックン 氏 (お笑い芸人 パックンマックン)

コロナの渦中、旅も自粛ムードになって観光地もPRしづらくなってしまう、今年はパンフレット大賞への応募が減少してしまうのではないかと心配しましたが、逆に去年よりも応募が増えたと聞き、ホッとしました。こんな時だからこそ、自分の住んでいる町の魅力を再確認出来たのかもしれないですね。

以前のように旅が出来るようになったら是非わが町を訪れてください」という思いが全てのパンフレットから伝わってきました。今年で8回目、毎年レベルがどんどん上がって来ているので、審査が難しくなってきました。



審査委員 北村 潤一郎 ((一財)地域活性化センター 常務理事)

大賞受賞作品をはじめユーモア溢れるユニークな作品が多く見られた昨年度とは打って変わり、今回は地域の魅力をストレートに伝える本格的なパンフレットが数多く並んだ。

とりわけ大賞の「宇和島本」は、奇をてらわずに、観光客にとって魅力的な「宇和島でやりたい10のこと」を前面に掲げ、グルメ、レジャーから地域の歴史文化や祭りに至るまで一つひとつ丁寧に解説している。そうだ、宇和島に行ってみよう。